

特講(現代社会論)		単位数	履修方法	配当学年
		1単位	S	1年以上
科目コード	AT1022	担当教員	岩見 和彦	

※7/4・5の仙台スクーリングに参加できる方のみ履修登録を行ってください。5/31までに履修登録した方にはスクーリング受講料納入依頼書を6/7までにお送りします。

■スクーリングで学んでほしいこと

現代社会とはいったいいかなる社会なのか。一方で私たちを非力で依存的な個人に仕立て上げるかと思えば、他方では、欲望のメニューを次々に更新し私たちを選択の自由を謳歌せよと鼓舞する。こうして私たちの「生」はねじれ、その核が定まらぬまま不透明さを増していくかにみえる。しかし、このような状況は、人間の「生」の根本（社会的存在性）を考える好機でもある。現代人と現代社会のありようを、「社会学」という少し大きな視点から読み解くことによって、自らの「生の現実」に新たな意味を見出すきっかけにしてほしい。

■到達目標

- 1) 「社会」というものを捉える視点について、明快な言葉で説明できる。
- 2) 具体的な社会事象を抽象的な理論へ組み込んでいく社会学的思考の過程を身につける。
- 3) 自分を見つめることと社会を問うことがじつは同義であることを、自分の言葉で具体的に述べるができる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	序：社会変動・文化変容と人生	「人生＝文化の重ね着」モデル
2	社会とは何か／文化とは何か	関わりのシステム／意味のシステム
3	前近代－近代	共同体／伝統－個人化／大きな物語
4	近代－現代	近代の変容＝ポストモダンの状況
5	現代社会論（1）：村上龍	〈悲しみ〉から〈寂しさ〉へ
6	現代社会論（2）：見田宗介	〈理想の時代〉から〈虚構の時代〉へ
7	現代社会論（3）：Z. バウマン	〈固体的近代〉から〈流体的近代〉へ
8	小括と質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

主に配付資料をもとに、受講生の「読み」と講師の「解釈」とのキャッチボールを行い、要所要所で、基本的な知識や考え方についての解説・整理をはさみます（レジュメ配付：口頭・板書）。

■スクーリング評価の基準

授業への参加状況50%＋スクーリング試験50%（自筆ノートのみ持込可）

試験ではとくに、講義内容の基本的な部分を正確に理解できたかを中心に問います。

■スクーリング時の教科書

必要な資料は配付しますので、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習

村上龍、見田宗介両氏の「資料」については、事前に読んでください。

※「資料」は納入期限までのスクーリング受講料納入者に送付します。

■スクーリング事後学習

身近に生起するさまざま事象が、現代社会に特有の〈かかわりと意味〉の磁場（力学）と、どう関連しているのかについて、折に触れ自分なりに解釈してみてください。

■参考図書

見田宗介『現代社会の理論』岩波新書、1996年

東 浩紀『動物化するポストモダン』講談社現代新書、2001年

Z. バウマン（森田典正訳）『リキッド・モダニティ』大月書店、2001年

■担当教員紹介

岩見和彦 関西大学名誉教授